6年生が作った新聞です

大栄小新聞（だいえい）

学校概要

【学校名】北栄町立大栄小学校
【所在地】北栄町由良宿213番地
【校長名】小田信之
【児童数】350人
【教育目標】黒ぼくの大地にたくましく生きる子どもの育成

【沿革】
1975年　由良、大誠、栄の3小学校が統合して開校
2004年　創立30周年記念で「名探偵コナン」の銅像設置
2024年　創立50周年記念式典・イベント開催

イベントの準備で田植えをする5年生

みんな協力して準備
もち米やサツマイモ収穫
飾りやスライドショーも

大栄小の創立50周年を祝う式典とイベントが昨年11月26、27両日、同校で開かれた。式典やイベントを成功させるため、全校児童がそれぞれの役割や準備に頑張って取り組んだ。

準備は6月から始まった。5～6年生がもち米を植え、1～4年生はサツマイモを植えた。

また、6年生は役割を分担し、画用紙を使って季節ごとの飾りを作ったほか、収穫した米をといだり芋を洗ったり、飾り付けを行ったりした。ほかにも、過去の写真を集めて50年間を振り返るスライドショーを制作するなど、それぞれのグループで協力して準備した。

6年の市下かいりさんは「記念式典やイベントに来てくれた人が懐かしい気持ちになるように準備を頑張った」と思いを込めて語った。

記念式典とイベントの終了後、6年の遠藤はるのさんは「50周年のためにいろんな人が準備を手伝ってくださり、明るい催しにできて良かった」と話した。

（森本優恵、道祖尾麻衣、立中涼、森晃大、仲井岳翔、原田結菜、日野結太、福光飛竜、村岡澪、米本朱李）

創立50周年を祝う

記念式典

心に響く合唱披露

大栄小の創立50周年を祝う式典が昨年11月26日、同校体育館であった。350人の全校児童が元気いっぱいに校歌を斉唱した後、５～６年生が「時の扉」を歌うと、来場した地域の方や保護者から大きな拍手が送られた。また、学校の歴史をテーマにしたクイズで盛り上がった。

最初に、小田信之校長や手嶋俊樹町長、来賓の方の話があり、児童は真剣に聞いた。

児童の合唱では、一人一人が50周年を迎えた学校に、ありがとうやおめでとうという気持ちを込めて歌い、聞く人の心に響くような歌を披露した。クイズでは、話を聞いている時や歌っている時とは表情や行動が変わり、楽しそうな空気が体育館全体を包み込んだ。

新年度、学校のリーダーになる５年の河本吉平さんは「今までありがとう大栄小。学校に感謝。これからもよろしくね」と50周年を迎えた学校に感謝の思いを話した。

（山下陽大、細田梨乃、中原兆一朗、松村咲希、伊藤光星、井高瑛互、尾崎結花、清水優大、杉川綺音、玉木里桜）

指揮者に合わせて合唱を披露する高学年の児童ら

学校の歴史クイズ楽しむ

遊びや餅つき楽しむ
記念イベント盛り上がる

一生懸命に餅をつく児童ら

大栄小の創立50周年イベントが昨年11月27日に同校であった。1～6年生が青、赤、白の縦割り班になって文字探しやパイプラインなど楽しい遊びを行った。昼食は1～4年生が作ったサツマイモを豚汁に入れて味わい、5～6年生が作ったもち米を全校児童でついて食べた。

昼食の後には、午前中にあった文字探しの結果を縦割り班の班長が発表したり、パイプラインなどの班の遊びと紙飛行機飛ばしの順位の結果も聞いたりし、児童は盛り上がった。

順位の発表後には、全校のみんなが写った袋入りのせんべいが全校児童に配られた。

50周年イベントに参加した1年の進木紬希さんは「文字探しが難しかったけど、班の人と協力して探すことができて楽しかった」と話した。

（砂原明蘭、飯田ことみ、塚本優、畑田晃奚、尚星宇、市下かいり、平信海咲、茶谷晄遥、深沢菫、福光凌岳）

コナンのまち探検

大栄小は人気漫画「名探偵コナン」の作者、青山剛昌さんが卒業した学校。北栄町内には銅像などコナン関係のものが多く、観光客が喜ぶ町の魅力の一つになっている。

コナンは国内外で人気があり、毎年約22万人の観光客が訪れる。校内やコナン駅（ＪＲ由良駅）前、北栄町図書館前の通りにはコナンのさまざまなキャラクターの銅像があり、コナンが描かれたマンホールやコナン橋は観光客に人気のスポットとなっている。

毎年2年生はまち探検に行き、施設見学を行う。町内のいろんな場所にコナンがいて、児童はコナンを身近に感じることができる。

2年の塚本丞さんは「大栄のシンボルが名探偵コナンだと思うから自慢したい」と語った。

（梅津来偉、増田壮吾、竹歳大城、吉田彩夏、村岡美紅、入江葵唯、金正栞奈、福光翔揮、宮木凰成、森本智恵）

コナン像の前で記念撮影する2年生

身近なスポット自慢したい

まちの特産品
甘くてシャリッ　人気の「大栄スイカ」

ＪＡ鳥取中央北栄営農センターでスイカを試食して笑顔になる児童

大栄スイカは、100年以上前からある北栄町大栄地区のブランドスイカだ。大栄スイカは大玉でとても甘く、シャリッとした食感が特徴。国内外で人気があり、たくさんの人々が親しんでいる「町が誇る特産品」だ。

ＪＡ鳥取中央北栄営農センター（同町妻波）では、毎年「スイカ祭り」を行っている。そこではスイカを買ったり、食べたりすることができる。地元の人がたくさん集まり、とてもにぎわう。

総合的な学習の時間に、初めて同ＪＡ営農センターに行った3年の定常侑志さんは「食べたら甘くて、歯触りがシャキシャキしていておいしかった」と笑顔で話した。

（浜田麗愛、河本龍之介、遠藤陽菜、山崎蒼太、山根和虎、井中健、浜口新太、岩間杏樹、福田美優、中原芽衣）

多くの人の憩いの場
由良台場跡でマラソンやまつり

北栄町由良宿の「由良台場跡」は、鎖国していた江戸時代の末期に外国船を追い払うための大砲を設置する場所として造られた。今では台場跡付近は「すいか・ながいも健康マラソン大会」や「北栄砂丘まつり」が行われ、毎年、多くの人が訪れている。

同まつりに参加した4年の大田叶さんは「砂丘まつりで、屋台の人たちが優しくて楽しく回れた」と話した。

同マラソンを走った4年の深田明日菜さんは「みんなの応援のおかげで気持ち良くゴールできるし、その後のスイカや長芋とろろ汁が食べられるのでうれしい」と語った。

（明石陽、杉川友唯、杉谷花奈、松本劉仁、山下和輝、遠藤はるの、永田晴己、河本悠月、遠藤慧留、生橋遥真、寺島嘉哉）

由良台場跡の近くを走る「すいか・ながいも健康マラソン」の参加者ら

編集後記

大栄小の創立50周年記念事業の一つとして、学校新聞づくりを行った。

大栄小の特色や歴史を振り返ることができたし、限られた字数で重要な部分を効果的に伝える方法を学ぶこともできた。

また、作った文章を見直すことの大切さにも気付けたので、今後の学習にも生かしていきたい。

（６年生一同）

教育に新聞を NIE Newspaper in Education